

会 議 録

会議の名称	平成27年度第1回所沢市高齢者福祉計画推進会議
開催日時	平成27年5月13日(水) 午後3時00分から午後3時50分まで
開催場所	市庁舎 大会議室
出席者の氏名	柳内委員、小原委員、山口委員、倉部委員、生澤委員、高野委員、吉本委員、稲津委員、柴井委員、根本委員、牛窪委員、小野委員、板谷委員、有田委員、斎藤委員
欠席者の氏名	大島委員、伊倉委員、中委員、清水委員、橋本委員
議 題	(1) 地域包括支援センターの運営状況について
報告事項	(1) 地域包括支援センター運営方針について (2) 地域包括支援センターの委託先の選定方法の見直しについて (3) 特別養護老人ホームの整備について (4) 介護保険制度改正パンフレット及び説明会開催について (5) 委員改選に伴う公募委員の無作為抽出実施について
会議資料	会議次第 所沢市高齢者福祉計画推進会議委員名簿 所沢市福祉部行政組織機構図 所沢市健康推進部行政組織機構図 資料1 地域包括支援センターの運営状況について 所沢市地域包括支援センター運営事業評価市評価表 平成27年度地域包括支援センター運営計画書 報告資料 所沢市地域包括支援センター運営方針 所沢市地域包括支援センター運営方針新旧対照表 特別養護老人ホームの整備について 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画概要版 パンフレット「介護保険制度改正のお知らせ」 介護保険制度改正説明会案内チラシ
担当部課名	福祉部 本橋部長、植村次長 高齢者支援課(池田課長、新井主幹、滝澤副主幹、築地主査、藤井主査、坂田主任、伊藤主任、宮川主任) 介護保険課(仲課長、平林主査、長浜主任)

	健康推進部 保健医療課（岸課長、田村主査） 健康づくり支援課（淵江課長、町田主査） 事務局 福祉部高齢者支援課
--	--

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>開会</p> <p>委員により会議の公開が承認され、傍聴者が入場する（4名）。</p> <p><u>議題（1） 地域包括支援センターの運営状況について</u></p> <p>事務局より資料に基づき以下のとおり、説明を行う。</p> <p><u>訪問相談等について</u></p> <p>総合相談支援の合計件数が昨年度に比べて600件ほど増え、概ね4%の増加となった。増加の要因は介護保険関連の支援と成年後見制度の相談が増えたためと考える。また、緊急通報システムの利用者が増えたことも要因の一つである。</p> <p><u>地域連携体制の推進</u></p> <p>地域ケア会議は基本的に4回開催しているが、自治会単位で会議を行う地区もあるため、回数は一定にならない。トコロみまもりネット会議は参加団体との打ち合わせを行っている。医療介護連携会議は年2回以上開催している。</p> <p><u>介護予防活動の推進</u></p> <p>介護予防教室は小手指第2包括の件数が多いが、これは小手指駅の南北に住宅地が分かれており、活動を多く行っているためである。</p> <p><u>家族介護者の支援</u></p> <p>介護者の集いに参加する人を増加させることが課題である。</p>
事務局	<p><平成26年度の運営事業評価について></p> <p>包括支援センターが自己評価を行ったのち、市で評価を行った。項目ごとに特徴的な事例について報告する。</p> <p><u>地域包括支援センター運営体制</u></p> <p>一部のセンターで人員配置が適切にされていない期間があった。職員が突然辞めてしまったことにより欠員が出たためである。現在は補充され改善されている。</p> <p><u>総合相談業務</u></p> <p>3圏域合同（小手指1・2地区、山口地区）の医療・福祉連携会議が開催された。70名以上の参加があり議論が活発に行われた。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>権利擁護業務</p> <p>山口包括で、お金の管理ができない高齢者を成年後見制度の市長申し立てにつなげた事例があった。虐待については、市と地域包括支援センターとの協働により虐待防止マニュアルを作成し包括支援センターとの連携強化を図っている。</p> <p>介護予防の推進</p> <p>自治会や小学校等を対象に、認知症サポーター養成講座を開催している。</p> <p>任意事業</p> <p>三ヶ島第2包括支援センターでは、小学校と連携した認知症SOS ネットワーク模擬訓練を行うなど地域ぐるみで事業を行った。</p> <p><平成27年度の運営計画書について></p> <p>今年度は「地域包括支援センターの運営」中に、公正・中立性及び公益性についての取組という項目を新設した。これは、一つの事業所に委託が偏るなどの問題を避ける目的がある。</p> <p>各包括支援センターに共通する課題としては、介護予防教室の参加者を増やすこと、経済的困難や虐待などの支援困難ケースが増加していることが挙げられる。</p> <p>地域の課題として、柳瀬包括では認知症に対して地域住民の意識が薄いことを挙げている。各地域とも現状にそってそれぞれの課題を設定している。</p> <p>委員からの意見なし。</p>
事務局	<p>報告事項 (1)地域包括支援センター運営方針について</p> <p>前回の審議会において、厚生労働省令が公布され次第、運営方針を作成し委員長の承認を得た上で包括支援センターに提示することとなったことから、省令をもとに、第6期計画や国の新オレンジプランを踏まえて作成した。主な変更点について説明する。</p> <p>公正中立の視点や虐待対応の観点から新たな条文を追加。今年度からの重点項目として、地域ケア個別会議についての条文を追加。地域ケア個別会議では、他職種の意見を取り入れることでサービスの質の向上を目指していきたい。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p><u>報告事項 (2)地域包括支援センターの委託先の選定方法について</u></p> <p>地域包括支援センターは現在14圏域13法人、一昨年度は14圏域14法人であった。昨今、市内に社会福祉法人が増えており、包括の受託等について問い合わせもきている。今年度までは、地域にとって同じセンターの同じ職員が継続的に携わることが大切であるという考え方から、随意契約ということで更新をしてきた。今後の具体的な選定方法を決めているわけではないが、研究し、検討していきたい。高齢者福祉計画推進会議においても意見を伺いたいと考えている。</p>
事務局	<p><u>報告事項 (3)特別養護老人ホームの整備について</u></p> <p>新たに特別養護老人ホームが開設されたので報告する。社会福祉法人桑の実会によって、所沢市大字本郷266番地に特別養護老人ホーム本郷希望の丘が、平成27年3月1日に開設された。定員は80人。</p>
事務局	<p><u>報告事項 (4)介護保険制度改正パンフレット及び説明会開催について</u></p> <p>平成27年4月の改正介護保険法の施行に伴う制度の大幅な改正に伴いパンフレットを作成した。配布については、6月実施予定の要援護高齢者調査の際に、高齢者がいる世帯に民生委員を通じて配布する予定である。また、6月下旬から7月にかけて、制度改正に関わる住民説明会を実施する。過去には地域包括支援センターや介護予防が開始された平成18年に行っており、9年ぶりの説明会である。今回は6月19日から7月1日に市内6か所の会場で行う。開催の周知は、チラシの行政回覧、まちづくりセンターや老人福祉センターへの設置、広報への掲載をしていく。</p>
事務局	<p><u>報告事項 (5)委員改選に伴う公募委員の無作為抽出について</u></p> <p>任期満了に伴う委員の改選であるが、公募委員については、所沢市民参加を進めるための条例によって、公募から無作為抽出の方法に変更している。現在抽出された方に通知を送っており、応募が多数であれば抽選をする予定である。</p> <p>委員の任期が平成27年6月30日で満了となることから、本橋福祉部長よりお礼の挨拶を述べた。</p> <p>閉会に当たり、副委員長から挨拶があり、閉会。</p>